



令和5年10月2日 やまのこひろば

大津市立ひえい平保育園☆大津市立比叡平幼稚園



朝夕は涼しくなり、秋らしく過ごしやすい気候になってきました。食欲・運動の秋は、子どもたちにとって楽しい行事がいっぱいです。健康管理に気をつけて、元気に楽しめるように備えましょう。

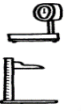
また、季節の変わり目で、朝夕の気温差も大きく、体調管理がむずかしい時期にもなりますので、毎日の気温の変化や活動内容に合わせて、衣服の枚数を調節できるようにしたり、半袖や長袖を替えられるように準備しておきましょう。

先月は滋賀県内でコロナウイルス感染者数が増加傾向になり、合わせてインフルエンザ感染者も増加してきていることから、今後の同時流行が心配されています。また、大津市内の小中学校や幼稚園でも学級閉鎖の情報が入ってきています。園内でも、早めの予防と対策に努めていきたいと思います。

< 10月の保健行事 >	
3日(火)	身体計測 / 2歳児きりん組
4日(水)	身体計測 / 0歳児ひよこ組・1歳児うさぎ組
10日(火)	身体計測 / 5歳児にじ組
11日(水)	身体計測 / 4歳児ほし組
13日(金)	身体計測 / 3歳児そら組
27日(金)	後期 内科健診 / 保育園の全園児対象

### ★10月の身体計測

10月の身体計測は全園児、身長・体重・胸囲・頭囲の4計測です。



### ★視力検査・聴力検査

4歳児(ほし組)は10～11月に、視力・聴力検査を実施予定です。



### ★後期内科健診 保育園児が対象です。

健診で園医さんに相談したいことなどがあれば、健診日までに担任保育士または保健担当までお知らせください。



## 子どもの目 ここが気になる

### よく見えていないサインかも？

- 極端に顔を近づける
- 顔を傾けて見る
- 片方または両方の目を細める
- 寄り目になっている
- 集中力がなく、飽きっぽい
- 反応が鈍い



### ★★★★★気をつけたい子どもの弱視★★★★★

視力が育つ途中で、何らかの原因で目を使わない状態が続くと、見たものを脳に伝える回路の成長が未発達のまま止まってしまいます。この状態が「弱視」です。弱視は早く見つけて治療すれば、多くの場合は視力が回復します。気になるときは、早めに眼科へ受診しましょう。

## ～保健室より～

### ★最近の園内状況

9月は、新型コロナウイルス感染症や、発熱、セキなどのかぜ症状でお休みされたお子さんがおられました。また、いったん熱が下がったあと、再度高熱が出てきて、お休みが長引いてしまったお子さんもおられました。月末には、欠席者数は減ってきています。

### ★9月の保健指導

<そら組での取り組み>そら組では、9月に入っても残暑が続いたことから、熱中症予防についてお話をしました。初めに暑い日に外で長い時間遊んでいると、汗をいっぱいかいて顔が真っ赤になったり、しんどくなることがあると伝えました。そして暑い日に外で遊ぶときには「帽子をかぶる」「お茶や水を飲む」「木陰など涼しいところで休む」の3つのことをできるようにしようとお話しました。子どもたちは、一生懸命お話を聞いてくれました。

<ほし組での取り組み>ほし組では、身近に起こるケガと、自分でできる手当ての仕方についてお話をしました。やまのこひろばで一番多いのは「打撲」で、子どもたちがよく保冷剤で冷やしにくるケガです。次に転んだ時にできる「すり傷」です。「すり傷をしたときは、どんな手当てをしたらいいと思う？」と聞くと、子どもたちは、得意気に「ハンソウコウ貼る!」と答えます。でも実はそれよりも、「まずは水道の水で傷口をきれいに洗う」ことが一番大切だと話すと「バイキンがついてるからきれいにしなあかんのや!」と子どもたち。「よく気づいたね!」と言うとうれしそうです。ほかにも、鼻血や、目に砂が入った時などの手当てについても伝えると、みんな、真剣な表情でお話を聞いてくれました。

<にじ組での取り組み>にじ組では、去年のケガと手当てのお話を思い出してもらった後、すり傷の時にできる「かさぶた」のお話をしました。初めに、血はケガをしたときに皮ふや血管が傷ついて出てくることを伝えました。そしてかさぶたについてのお話を始めると、ある子が「かさぶた、いつもめくってる」とつぶやきました。そこでかさぶたには、傷を治すためにとても大事な役割があることを、イラストで見せながら伝えました。最後はかさぶたができたら、めくりたくなってもがまんして、役割を終えて自然にとれるまで、大切にほしいことを伝えました。

### ★はみがき指導 ～ほし・にじ組での取り組み～

9月に入ってから、4・5歳児クラスでは、コロナウイルス感染症対策で控えていた、はみがきを再開しました。再開したとはいえ、今の4・5歳児クラスの子もたちが、園でははみがきをするのは初めての経験となります。そこで、事前に「はみがきについて」お話をすることにしました。

4歳児クラスでは、口の中の写真を見せて、歯がたくさんあることを知らせたり、歯ブラシのブラシの部分が歯にしっかりと当たるように、歯ブラシを持って磨くことを確認したり、「あ」の口で奥歯を、「い」の口で前歯を磨くことなど、まずは簡単な磨き方からお話しました。子どもたちは、「ブラシじゃないところで磨いたらどうなるのかな?」や「ハブラシに〇〇の絵が描いてるで」など初めてのはみがきを楽しみにしている様子でした。

5歳児クラスでは、口の中の写真で、子どもの歯が上下10本ずつ生えていることを知らせ、1本ずつ丁寧に磨くことを伝えました。また、歯ブラシの持ち方を確認したり、歯のどんなところに汚れがつきやすいかなども写真やイラストで伝えました。そして、歯の模型を使って、磨き方の確認をしました。

最後にどちらのクラスでも、歯ブラシをくわえたまま、ウロウロ歩き回ると転んだ時に大きなケガにつながる危険があることを伝えました。ふざけたりせず、椅子に座って、安全にはみがきをしようとお約束をしました。